平成２７年度第１回千葉市地域公共交通会議議事録（議事要旨）

１　日　時：平成２８年２月１２日（金）　　１０時００分～１０時５５分

２　場　所：千葉中央コミュニティセンター９階　９３会議室

３　出席者

（委員）榛澤委員、尾崎委員、杵渕委員(代理:太田良氏)、花﨑委員(代理：田中氏)、土屋委員、岡澤委員、石橋委員、谷津委員

（オブザーバー）佐藤土木部長

（事務局）交通政策課 松本課長、米屋主査、加藤主査、水上主任技師、新野技師

４　議題及び議事要旨

（１）コミュニティバス・モノレール共通１日乗車券について

事務局から、資料１により案の説明があり、質疑応答の後、案のとおり承認された。

【事務局案】（資料１参照）

① 目　　的　　利用者の少ない土日祝日に、利用料金を割り引いた１日共通乗車券を発売し、利用者の増加を図る。

② 取組体制　　主催：千葉中央バス㈱（コミュニティバス運行事業者）
協賛：千葉都市モノレール㈱、千葉市

③ 取組期間　　平成２８年４月２９日（金・祝）～１０月３０日（日）の土日祝日
※GW期間中の５月２日（月）、５月６日（金）についても販売する。

④ 料金設定　　大人８００円、小人４００円（現金のみの支払い・障害者割引なし）

⑤ 販売場所　　コミュニティバス（さらしなバス、おまごバス、いずみバス）車内

⑥ 有効期間　　発売日１日に限り有効

【主な意見】

（石橋委員）

コミュニティバス運行協議会では、大変良いものを計画していただいたとの意見もあり好印象だった。

その反面、地域住民に対する利用促進策だが、外部からのお客様も呼び込みたいとの意見もあった。

（岡澤委員）

前売りする計画は無いのか。モノレール千城台駅まで行かないと全ての１日乗車券が揃わないので、先に手元にあった方が利用しやすいと思う。

（土屋委員）

車内での販売に限定せず、例えば自治会の方々には事前に販売する等、間口を広げたほうが利用促進になると考えられる。

（花﨑委員（代理：田中氏））

販売方法について、過去にバス路線沿線の店舗でバス回数券を販売されていたことを参考に、今後検討していただきたい。

（事務局）

各委員からいただいた販売方法の意見については、本取組みの結果とあわせて、今後の検討課題とする。

（２）若葉区泉地域コミュニティバス（おまごバス）のルート変更について

事務局から、資料２により案の説明があり、質疑応答の後、案のとおり承認された。

【事務局案】（資料２参照）

御殿町３号線の供用開始に伴い、平成元商前～富田入口の一部区間を変更する。

【主な意見】

（杵渕委員（代理：太田良氏））

変更ルートの交差点は、信号も右折レーンも整備されており、問題はない。

（石橋委員）

現在のルートは、当該区間で道路幅員が狭くなるため、非常に危ないと感じていた。

当該区間にはバス停が無く、バス停位置の変更が生じないので、コミュニティバス運行協議会においても問題はない。

（３）その他

事務局から、現在のバス事業の取組について、以下２項目の報告があった。

① 若葉区泉地域コミュニティバス(さらしなバス)沿線地域へのアンケート調査結果について

② パーク＆バスライド社会実験（花見川区北部地区）について